

平成 29 年度

「第 1 回 帯広市自立支援協議会 就労・社会活動部会」が終わりました

7 月 8 日に、第 1 回「帯広市自立支援協議会 就労・社会活動部会」を開催いたしました。この研修会は、就労への支援の向上と、障がいをお持ちの方の就労を含めた生活の質の向上を目的に昨年度から行っています。

今回は『精神障がいと発達障がいの理解について』をテーマに、北海道立緑ヶ丘病院 医長 枝 雅俊 先生をお招きしご講演いただきました。

日頃より企業の皆様から「障がいの理解や対応方法について学びたい」との声を受けていたこともあり、今回は幅広く周知を行い 100 名を超えるお申し込みをいただき関心の高さを感じる結果となりました。



研修内容はうつ病・発達障がい・躁うつ病・統合失調症などについての基本的知識のご紹介から就労支援のポイントまで幅広い内容でした。また、病気を発症した際の治療や休職の考え方や休職後に使える制度などについてのお話もありました。就労支援のポイントでは、障がいの特性に対応するのではなく、ご本人の得意なことを選ぶこと、自己肯定感を高めるためにも「目標は大きく、一歩目は小さく」達成感を積み上げていく大切さを話されていました。

障がい者雇用の現場から受ける相談の内容としては、困ったことに対しての手立てを求められることが多い現状です。しかし、起こらないようにどう環境を整えるか、どう支援をするかを考える必要性があること、仕事だけではなく日常生活や余暇を含めたライフサイクルを身に付ける必要性があることを改めて確認することができました。

平成 30 年より企業の課せられる法定雇用率に精神障害手帳取得者が算定に加わることもあり、就労を支援する側、雇用する側ともに精神障がい・発達障がいの支援に関してニーズがある状況です。今回の内容を皆様の事業所で共有していただき、今後の支援の参考にさせていただけたら幸いです。



今年度 第 2 回目は 9 月～ 10 月を予定しています。皆さまのご参加をお待ちしております。